

横川っ子だより



ユニバーサルデザインって 何 だろう？



左の絵は、何がユニバーサルデザインだと思いますか？
パックの上部に丸い切り込みが入っていることで、この商品が「牛乳」であることがわかります。

そして、「あけぐち」が切り込みの反対側にあることが判別しやすくなっています。スーパーで紙パック製品を見ると、牛乳以外の製品には、丸い切り込みはありませんでした。

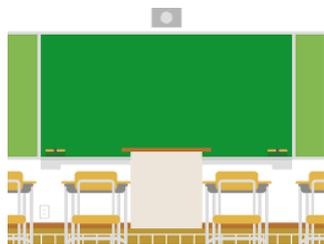
「ユニバーサルデザイン」とは、『すべての人のためのデザイン』という意味です。特定の人たちのバリア（障がい、障壁、不便など）を取り除く「バリアフリー」の考え方をさらに進め、能力や年齢、国籍、性別などの違いを超えて、すべての人が暮らしやすいように、まちづくり、ものづくり、環境づくりなどを行っていかこうとする考えかたです。

今、横川小では「授業のユニバーサルデザイン化」に取り組んでいます。これは、「だれにもわかりやすく、安心して参加できる学習環境をつくる」ということです。つまり、特別支援教育の視点を、すべての子どもの指導に生かす取組です。

以下に、具体的な取組を紹介します。

★板書と机間指導の工夫★

- ・不必要な刺激を取り除き、黒板に注目しやすいシンプルな黒板にしています。
- ・注意書きやマーク、色チョークを使用して、注目をさせています。
- ・机間指導は、子ども一人一人と触れ合うチャンスと捉え、どの子にも言葉がけやサインを送り、学習意欲につなげています。



★★見通しがもてるように★★

- ・授業の流れを予告しています。
- ・指導は、子どもが集中できる短い時間で行うようにしています。
- ・子どもが学びたい課題を提示するようにしています。



★★★視覚的に示す★★★

- ・イラストや写真、視聴覚教材を有効に活用しています。



★★★★認め合う学級集団にする★★★★

- ・落ち着いて学習できる環境づくりに努めています。
- ・一人一人が活躍できる場をつくっています。
- ・個別的なかわりを多くして、触れ合いを大切にしています。
- ・間違いやわからなさを否定的に見ない学級集団にしています。
- ・教師がモデルを示しています。



★★★★★肯定的に評価する★★★★★

- ・できたことはしっかり評価をして褒めています。
- ・具体的、肯定的な言葉で指導しています。
「あと少しね」⇒「あと5分で終わります」
「ちゃんと掃除して」⇒「廊下の隅まで拭きます」
「～が終わるとたくさん遊べるよ」
- ・追い詰めた質問をせず、してほしい行動を伝えていきます。



家庭教育講演会 ～子どもの力をどう伸ばす?～

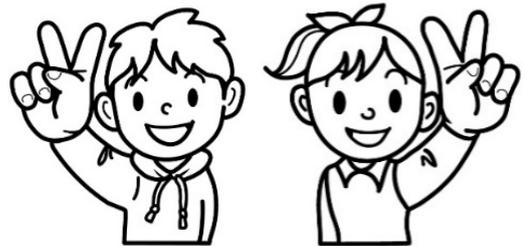
(講師：コミュニケーションアドバイザー 千田 伸子 さん)

●親の役割とは・・・

- 安心して語れる環境をつくること
- 自尊心を育てること
- やる気の芽をつまないこと
- 聴き上手になること

●思春期は自己肯定感の危機・・・

- 子どもの存在を認め、行動を許容する
- 失敗しても粘り強く取り組む力を高める



●3過剰が子どもをダメにする・・・

- 過剰期待・過剰干渉・過剰保護
- 甘やかすことはNO・甘えさせることはYES

●褒め方のポイント～結果だけでなく努力を褒める～

- 即時性・・・その場で褒める
- 多様性・・・いろいろなパターンで褒める
- 明示性・・・具体的に褒める
- 間欠性・・・適切な間隔で褒める